



助け合いの気持ちを形に

ボランティア隊隊長  
安田光男さん(妻木町)

私たちボランティア隊14人は、昨年7月14日から18日まで宮城県七ヶ浜町に派遣されました。この町も津波の被害を受けていましたが本当にひどい光景でした。現地では、がれきの処理や倒木の切除などのほか、盆踊りの時期でしたので、盆踊り用の浴衣の仕分けも行いました。

今回ボランティアに行こうと思ったのは、阪神・淡路大震災や新潟県中越沖地震の時に行けなかったことが、ずっと心に引っかかっていたからです。東海地方には大きな地震が来ることが予想されます。いざとなればお互いさまです。助け合う気持ちはみんなの心の中にはあると思いますが、それをどうやって形にするのか。例えば、コミュニティーにどんな人が住んでいるのか知ること、助け合うときに大切になるのではないのでしょうか。



自分たちにできることは

土岐市消防本部  
長谷川 悟(消防士)

私たちが緊急消防援助隊として出発したのは、地震発生から約3時間後だったため、情報がほとんどなく、行き先や活動内容、派遣期間も決まっていなかった状況でした。被災地に入ると、地元の方々が道路脇に並び、私たちが拝むように両手を合わせて迎える光景に、隊員は胸を熱くし、期待の大きさと任務の重大さを思い知りました。

災害への備えとして、日頃から約3日分の食料などの災害用品を準備しておくことはもちろんですが、家具の固定などの予防策、家族や職場で避難方法について話し合うことも大切です。今回の震災で、家も家族も失い絶望的な状況の中で協力している人たちの姿を見て、災害直後は行政サービスが均等にいき届かないため、避難できた人たちで助け合うことが一番大切だと感じました。



この経験を生かして

土岐市保健センター  
片山和奈(保健師)

私は、岐阜県保健師支援チームの一員として、昨年の6月2日から7日まで岩手県陸前高田市で活動しました。避難所の巡回や、健康生活調査で支援が必要と判定された方を再訪問し、継続して支援が必要な方をほかの支援チームなどへつなぐ仕事です。

「自分にできるだろうか」と不安もありましたが、被災した方が、他の被災者のために活動する姿や多くの人の出会いの中で、できることを一生懸命やろうという気持ちが、より強くなりました。被災地の方の前向きな姿や「遠いところから来てくれてありがとう」などの言葉に、元気づけられることもありました。今回の活動では、自分の力不足を感じることもありましたが、今後は、日々の活動を大切に、多くの経験を積んでいきたいと思います。

災害に強いまちづくり

土岐市長 加藤靖也

防災倉庫の強化、公  
共施設の耐震化など  
と合わせ、自主防災  
組織が動きやすい環  
境づくりを進めてい  
きます。  
これからも皆さん  
とともに、災害に強  
い「土岐市」をつく  
ります。

東日本大震災から、間もなく1年を迎えます。この間、市民の皆さんが義援金や支援物資の提供など、積極的な被災地支援をされたことに、あらためて感謝申し上げます。市でも、防災備蓄品を提供したほか、釜石市などに職員を派遣しました。私たちが暮らす東海地方は、近い将来、高い確率で大地震の発生が予想されています。現在、小・中学校の耐震化を優先的に進めています。災害への対応はハード面だけでは不十分です。大きな災害で被害を受けた場合、一時的に行政機能がストップし、回復までかなりの時間がかかります。そのとき自分の命を自分で守り、地域同士で助け合う自主防災活動が重要になります。備蓄・防災倉庫の強化、公  
共施設の耐震化など  
と合わせ、自主防災  
組織が動きやすい環  
境づくりを進めてい  
きます。



2011年3月11日午後2時47分、東北・関東地方を襲ったマグニチュード9.0の巨大地震。そして最大で40mを越えたといわれる大津波。

「何かできないか」  
震災発生以来、全国で被災地支援の機運が高まり、土岐市からも多くの方が支援に参加しました。あの日から間もなく1年。土岐市発の被災地支援についてお知らせします。

■問い合わせ 総務課(内線224)

被災地への支援

皆さんからの義援金

14,216,921円 (2月20日現在)

市役所や総合病院などに義援金箱を設置しました。義援金は日本赤十字社を通じて、被災した方々に届けられます。3月31日まで引き続き受け付けていますので、ご協力をお願いします。

土岐市職員を派遣

平成23年3月11日～平成24年2月2日

- ▷緊急消防援助隊 3月11日に第一次隊として消防隊員5人・消防車1台を福島県相馬郡新地町へ派遣したほか、延べ13人を派遣
- ▷給水活動 3月13日に水道課職員2人と給水車を岩手県盛岡市へ派遣
- ▷看護師 4月7日に総合病院の看護師1人を福島県石巻市へ派遣
- ▷保健師 6月2日に岩手県陸前高田市へ1人派遣
- ▷支援職員 避難所運営支援のための職員8人と建築技術職員2人を岩手県釜石市へ派遣

土岐市災害支援ボランティア隊

平成23年7月14日～18日

土岐市社会福祉協議会と共催した災害支援ボランティア隊に14人が参加し、宮城県七ヶ浜町内で、民家に残ったガレキの片付けや仮設住宅集会所での支援活動などを行いました。

支援物資の提供

平成23年3月18日～7月26日

- ▷皆さんからの支援物資 物資の提供を呼び掛けたところ、受け付けをした8日間で1,580件、ダンボール箱にして1,142個の物資の提供をいただき、被災各県に届けました。
- ▷美濃焼の提供 市内の陶磁器業界から提供された茶わんや皿など、ダンボール箱約1,000個の「美濃焼セット」を、宮城県内の仮設住宅で暮らす方に届けました。
- ▷窯の材料の提供 被災窯元支援のため、土岐市美濃焼PR委員会を中心となり、棚板など窯の材料を、栃木県と茨城県の窯元に届けました。